

生物多様性を保全，生きものと共生する農業を推進



国内農業の現状・課題

- 生産者の減少・高齢化
- 温暖化，大規模自然災害
- SDGsや環境への対応強化



農林水産省が令和3年5月に「**みどりの食料システム戦略**」を策定

- 化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減
- 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減
- 有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大 etc.

市内での有機農業・グリーン化の推進

大崎市有機農業・グリーン化推進協議会(R4年5月～)

○目的

みどりの食料システム戦略と協調，**グリーンな栽培体系**への転換に資する検証事業に取り組み，世界農業遺産「大崎耕土」で有機農業や環境保全型農業の普及を図る。

*** グリーンな栽培体系** → 「環境にやさしい栽培技術」及び「省力化に資する先端技術等」

○協議会の構成員

農業者，農機メーカー，JA等の農業団体，県や市の行政等関係者で組織する。

市内での有機農業・グリーン化の推進

○活用事業：農水省『グリーンな栽培体系への転換サポート』（R4～R6）

○実践内容：平地部会と中山間部会に分け，地域に合わせた栽培実践と検証を
実践。

- ・ **アイガモロボ**活用による水田の雑草抑制
- ・ **スマホ水管理システム**による水田水位の遠隔管理



アイガモロボ



**スマホ
水管理システム** 8

有機米デザインとの連携協定，持続可能な農業推進



R5年8月締結



アイガモロボを活用した有機産地形成の連携協定

民間企業・農業法人 TDK・井関農機・権右衛門

秋田県にかほ市

2022年
5月締結

【概要】環境保全型スマート農業の連携推進
【目的】2025年をめどに、「環境保全型スマート農業」の構築を目指すべく、自動抑草ロボットを用いた環境負荷の低い稲作工程のモデルを確立する

農業協同組合 JAはくい

石川県羽咋市

2021年
9月締結

【概要】国内で唯一、JAが自然栽培に取り組む産地
【目的】自然栽培の更なる面積拡大に取り組む



行政・民間企業 島根県浜田市・井関農機(株)

島根県浜田市

有機米販売等も含めた連携を進め、有機農業の産地づくりに取り組む

行政・民間企業

青森県黒石市

青森県黒石市・井関農機(株)・(株)キセキ東北

2023年
3月締結

持続可能な発展のための有機農産物の産地づくりに関する協定を締結

行政

宮城県大崎市

宮城県大崎市

2023年
8月締結

世界農業遺産「大崎耕土」の有機化に関する協定を締結

行政・民間企業

新潟県新潟市

新潟市・井関農機(株)

2022年
1月締結

先端技術を活用した持続可能な農業の推進に関する連携協定を締結

行政・民間企業

山梨県北杜市

山梨県北杜市・(社)ヴァンフォーレススポーツクラブ

2022年
8月締結

【概要】循環型社会の形成を推進
【目的】農業や観光を中心とした循環型社会の推進による地域の活性化と市民サービスの向上を図る

